

# 玉垣小学校だより

令和7年3月6日（木）学校通信 第15号

## ねんせい おく かい きん 6年生を送る会 2/21(金)

今年度、コロナ禍を経て初めて、全校が一斉に体育館に集まる対面式で実施しました。

どの学年も 6年生に感謝の気持ちを伝えようと出し物等を工夫して披露し、気持ちや一生懸命さが伝わってきました。5年生は 1月から計画や準備等をずっと続けてきており、当日の進行や後片付けまでしっかりと頑張ることができました。6年生のいつも以上の笑顔が印象的で、きっと在校生の気持ちが伝わったと思います。

1年



2年



3年



4年



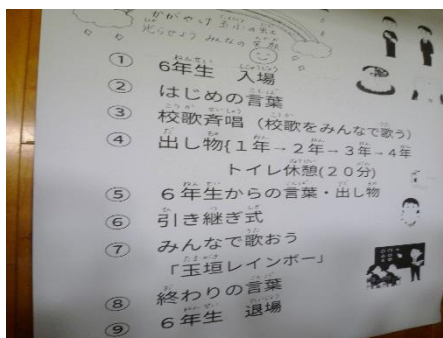
5年



6年



全校合唱



# だい かいがっこううんえいきょうぎ かい もく 第6回学校運営協議会より 2/27(木)

がっこううんえいきょうぎかい ほごしゃ ちいき かた こえ よ がっこう い かい だ  
学校運営協議会（保護者や地域の方の声をより良い学校づくりに活かすための会）で出さ  
れた主なご意見です。今回は学校関係者評価（本年度1年間の学校運営の反省）についてご意見  
をいただきました。（学校関係者評価書は学校HP をご覧ください。）

Q ICT の活用事例を見たい。どのような活用事例があるのか、研修してはどうか。

A ICT活用について、苦手な先生も授業で活用できるよう、ここ4～5年は職員研修を毎年  
複数回実施し、先日も自主的に研修会を開いたところだ。うまく活用し、子どもに還元でき  
るようにしていきたい。

Q 「人のことを大切に想って聴く」の中でも、何を大切に思うのか。

A この目標は、どの子でも言えるぐらい浸透していると思う。利他の心、他人の心・身体  
を大切にすることから聴く姿勢ができるようになる。

Q 読書冊数の根拠は。冊数以外のことが大切だと思う。

A 図書室の貸出数でカウント。冊数だけが全てではないことは学校も理解している。記録す  
る内容や方法を考え、意欲向上につなげたい。

○ 長期欠席の減少について、学校も（全国的な）人手不足でほんとにルームを午後閉じてい  
る。ニーズはあるので、今後教育委員会とも調整していきたい。

○ ボランティアの数が足りているかどうかは、回数だけでは判断しづらい。

ボランティアの数も少ないので、どのようなことをするのかかわりにくいので、募集方法、  
発信方法の工夫、ボランティアの募集を、学校と学校運営協議会の連名で、地域と学校との  
連携を考えていきたい。

Q 地域から「学校が大変なのはわかるが、地域で子どもを注意してもなかなかきかないので、  
どうしても学校に電話してしまう。」という声もある。

A 子どもを良くするのは学校だけではないので、まずは見つけた人、地域で注意してくれる  
ことが必要だと思う。

○ 自己肯定感については、高くすることだけに終始していない。学年によっても差はあるが、  
自分を否定的に捉える割合は昨年度より減っている。

Q キャリアパスポートは何のためか。

A 全国で実施しており、将来の自分に向けて、今の自分の頑張り等を記録している。

○ 玉垣小学校は、この少子化の時代においてこの先もしばらく児童数が減らず、今後市内  
でも最大の人数となる見込みである。それを見越して、手立てを講じていく必要がある。